

各位

株式会社東北銀行

**「とうほくのみらい応援ファンド」投資案件への出資決定について**  
**～6次産業化ファンドの岩手県第1号案件～**

株式会社東北銀行(取締役頭取 浅沼 新)では、この度、とうほくのみらい応援ファンド(※1、以下当ファンド)の投資案件として、有限会社おおのミルク工房(代表取締役 塩倉 康美)に対して出資を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

本件は、全国各地で設立されている「農林漁業成長産業化ファンド」において、「岩手県内第1号」となります。また、酪農業に関する案件としては「全国第1号」となります。(当ファンドにおいては「第2号」)

当行では平成17年に全国に先駆けてアグリビジネス支援を開始し、当時より地域製品の付加価値を向上させる「6次産業化」に取り組んでまいりました。そうしたなか、今回6次産業化ファンドである当ファンドの投資支援が決定したことは、これまでの取り組みの一つの結果と捉えております。

当行では引き続き、投資先となる6次産業化事業体への出資・経営支援を通じ、農林漁業の成長産業化を後押しし、真に地域の雇用創出、地域経済活性化に取り組んでまいります。

※1…2013年6月12日付プレスリリース「とうほくのみらい応援ファンドへの出資について」ご参照

#### 1. 投資先の概要

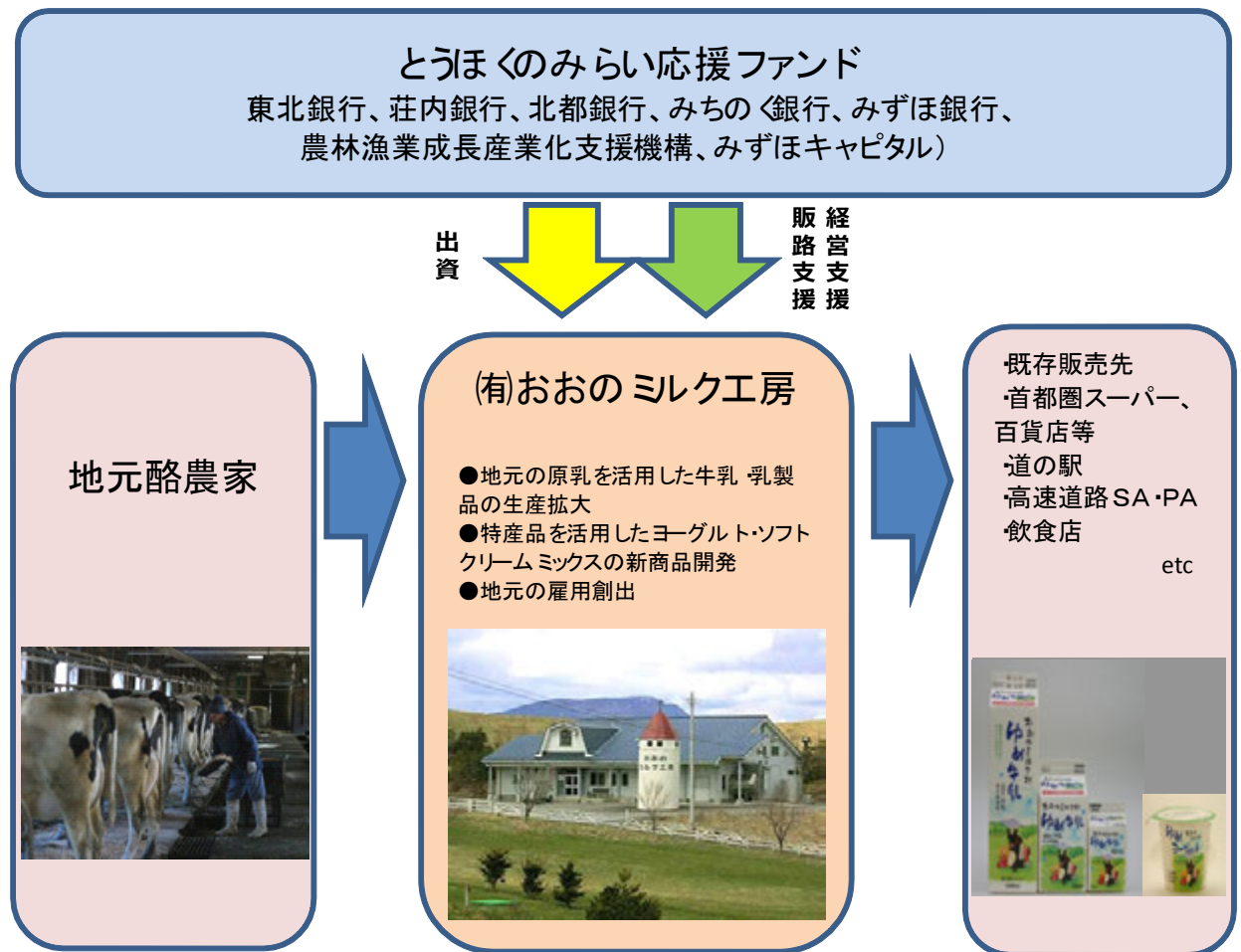
投資先名	「有限会社 おおのミルク工房」代表取締役 塩倉 康美
住所	岩手県九戸郡洋野町大野 58-12-32
設立年月	平成17年1月
事業内容	岩手県久慈広域エリアの牛乳・乳製品製造会社として、地元酪農家等からの出資によって設立した会社。 酪農家が絞りたてを鍋で沸かして飲む牛乳本来の味を再現した牛乳の製造販売の他、地域特産品を活用したヨーグルト・ソフトクリームミックス等の開発・製造販売を行う。


## 2. 案件の概要

出資決定額	とうほくのみらい応援ファンド	1,300万円
用途	生産設備導入資金	
投資の効果	製造工場の設備整備やファンドからの経営支援・販路支援により、以下の (i)～(iv)を通じて地元雇用の拡大と農山漁村の活性化に貢献する。 (i)生産量の拡大による地元酪農家への貢献。 (ii)地域特産品とコラボした新商品の開発による地域のPR効果。 (iii)地域への販路拡大。 (iv)首都圏への販路拡大。	

※本件に対する当行の支援…事業計画の策定支援、販売先の紹介等

<スキーム図(イメージ)>



 **東北銀行**

〒020-0023 盛岡市内丸3番1号

電話番号 019-651-6161

F A X 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>

<参考:商品について>



【ヨーグルト】



【プリン】



【ソフトヨーグルト】




【せんべいアイス】

※本項は(有)おおのミルク工房の取扱商品の紹介であり、販売を目的としたものではありません。

【本件に関するお問い合わせ】

成長産業推進部 (担当: 鷹橋・中村)

電話番号: 019-651-6161

 **東北銀行**

〒020-0023 盛岡市内丸3番1号

電話番号 019-651-6161

FAX 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>